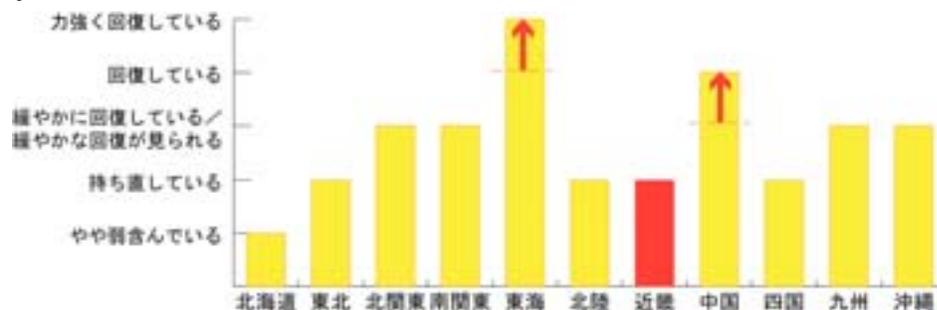


地域経済動向について

資料) 内閣府「地域経済動向」平成16年5月31日

1. 各地域の景況判断

今回調査（平成16年5月）と前回調査（平成16年2月）を比較すると、東海では雇用情勢などを理由として、中国では個人消費、雇用情勢などを理由として、それぞれ上方修正となった。その他の9地域については、前回調査と同じ。



2. 近畿地域の動向

		前回 (H16.2)	今回 (H16.5)
景況判断		景気は持ち直している	→ 景気は持ち直している
生産及び 企業動向	鉱工業生産	増加している	→ 増加している
	企業動向の 業況判断	「悪い」超幅が縮小し、 資金繰り判断は「楽である」と「苦しい」が ほぼ同数	↑ 「悪い」超幅が縮小、 資金繰り判断は「楽である」超に転じている。
	設備投資	15年度は前年度を上回る計画	→ 15年度は前年度を上回る見込み
需要の動 向	個人消費	おおむね横ばい	→ おおむね横ばい
	住宅建設	横ばい	↓ 減少
	公共投資	年度累計で見ると前年 を下回る	→ 15年度累計で前年度を 下回る
雇用情勢 等	雇用情勢	依然として厳しい状況 だが、持ち直しの動き が続いている。	↑ 依然として厳しい状況 だが、持ち直しの動き が強まっている
	企業倒産	件数、負債総額ともに 減少	→ 件数、負債総額ともに 減少
	消費者物価 指数	おおむね横ばい	→ 横ばい